

# 政活費問題 市議を問責決議

## 市川、別の議員には辞職求める

市川市議会は29日、市議

と元市議の2人が政務活動費で切手を大量に購入した問題をめぐり、このうち小泉文人市議について2件の問責決議を全会一致で可決した。また、この問題を調べた百条委員会の調査の過程で虚偽の収支報告を行っていたことが判明した青山博一市議については、議員辞職を求める決議を全会一

致で可決した。

小泉氏について百条委の報告書は、切手を使いアンケートを実施したことを確認できなかったと指摘していた。決議は①市議に求められる法令順守の水準を理解すべき②市民が納得する責任の取り方を示すべきだとの内容。小泉氏は「行政の適正執行という委員会の目的を度外視して個人攻撃

を行っている」とのコメントを出した。

青山氏について決議は、市議会の会派に支給された政務活動費を個人で使用したことなどが市条例違反にあたると指摘。青山氏は朝日新聞の取材に「真摯に反省している。十分によく考えて対応したい」と話した。

市議会は同日に閉会。11億7500万円の一般会計補正予算案など22議案と、給付型奨学金の創設を求める意見書の提出など8件の決議も可決した。